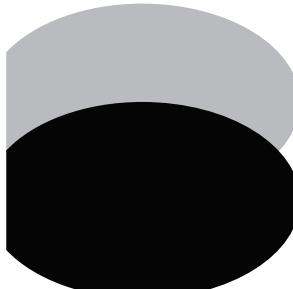


20251203

絵本学会 NEWS No.83

発行：絵本学会
発行日：2025年12月3日
編集：絵本学会広報委員会
絵本学会事務局：〒100-0003
東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル9F
(株)毎日学術フォーラム内
電話：03-6267-4550
Mail : maf-ehongakkai@mynavi.jp
HP : http://www.ehongakkai.com



絵本学会

- ・第29回絵本学会大会のお知らせ
- ・第29回絵本学会大会 研究発表・作品発表募集要項
- ・会長報告
- ・研究委員会からのお知らせ
- ・紀要編集委員会からのお知らせ
- ・企画委員会からのお知らせ
- ・理事会 議事録
- ・新入会員
- ・新入会員の自己紹介
- ・編集後記

■ 第29回絵本学会大会のお知らせ ■

テーマ 「絵本は生命のバトン」

会場となる上川町は、北海道のどまんなか大雪山国立公園を擁し、山や湖の自然はピーターラビットの故郷を想起させます。英國湖水地方は、作者ピアトリクス・ポターが絵本の印税をナショナル・トラストに遺贈したこと、今でも120年前のままに自然が保たれています。絵本の舞台となることで、豊かな自然を守り、次世代の子どもに遺していく。ポターを日本に紹介した吉田新一先生を追悼します。また、北の大地で長年にわたり絵本を作り続けてきたあべ弘士さんから、北海道の自然と動物たちの生命の物語をお聞きします。さらに、絵本のコミュニティづくりに尽力されてきた方々にもお集まりいただきます。絵本のバトンをつなぐ北海道上川大会に、ぜひご参加ください。

実行委員長 竹内美紀

◆大会概要

日時：2026年6月27日(土)～28日(日)10時～17時

場所：北海道上川町かみんぐホール

主催：絵本学会、共催：上川町、上川町教育委員会

◆スケジュール（都合により変更する可能性があります）

【1日目】2026年6月27日(土)

10:00～ 開会式

10:30～12:30 ワークショップ「絵本でつなぐコミュニティ」

話題提供者：武井昭也（札幌国際大学教授）

中島進（絵本図書館ネットワーク代表）

岡田達信（絵本セラピスト協会代表）

14:00～15:30 基調講演「北海道の自然と絵本作り」

ゲスト：あべ弘士（絵本作家）

16:00～17:00 総会（絵本学会会員のみ）

17:30～19:30 懇親会（かみんぐホール内）

【2日目】2026年6月28日(日)

10:00～12:00 研究発表

13:00～14:20 作品発表

14:30～16:30 【吉田新一先生追悼シンポジウム】

「ピーターラビットの絵本と自然保護」

パネラー：藤本朝巳（元絵本学会会長）

河野芳英（大東文化大学教授、ピアトリクス・ポターTM資料館館長）

永井雅子（絵本学会理事）

16:30～17:00 閉会式

◆交通案内

・会場となる「上川町かみんぐホール」は、JR上川駅から徒歩5分。

・上川駅は旭川駅からJR快速で40分。または、旭川駅からバスで90分。

参考：JR北海道石北線・時刻表（2025年10月現在）

(朝) 旭川駅 7:01 → 上川 8:01, 旭川 9:08 → 上川 10:09

(夜) 上川駅 20:18 → 旭川 21:15, 上川 21:04 → 旭川 21:44
(快速)

・東京からは羽田空港から直行便で旭川空港、旭川空港よりバス40分で旭川駅。

- ・関西などその他の地域からは新千歳空港、札幌駅から旭川駅はJR特急で1時間25分。

◆宿泊その他

- ・上川駅近辺の宿泊施設が少ないため、公共交通を使う方にとっては、旭川駅近辺のビジネスホテルが便利です。
- ・層雲峠温泉街にはホテルが多数ありますが、上川駅まで車で30分。バスの本数が少ないので、レンタカーなど車の方にお勧めです。
- ・旭川駅近辺には、旭山動物園、絵本専門店こども富貴堂、Gallery プルブル等があります。
- ・大会翌日6/29(月)、隣接の剣淵町「絵本の館」で案内ガイドを企画中です。

◆問い合わせ先

- ・メールアドレス ehongakkai29taikai@gmail.com
- ・第29回絵本学会大会ホームページ
<https://ehongakkai29taikai9.webnode.jp/>

以上



第29回絵本学会大会 研究発表・作品発表募集要項

プログラムを参照のうえ、研究発表、作品発表を希望される会員は、以下の募集要項に沿ってお申し込みください。

※研究発表は大会2日目10時から、作品発表(口頭発表)は大会2日目13時から行われます。(オンライン配信は実施されません)

◎研究発表

1. 発表者の資格(応募資格) :

絵本学会の会員で、2025年度までの会費を納入済であること。新規入会者の場合は、2025年12月31日(水)までに入会を申し込み、2026年1月31日(土)までに手続きが完了していること。

2. 発表テーマ :

絵本及び絵本に関連のある研究テーマで未発表のもの。

3. 発表時間 :

口頭発表20分間 質疑応答10分間

4. 申し込み要領 :

2026年2月2日(月)～2月20日(金)〔期間内に必着〕Google Forms「A 研究発表エントリーシート」に必要事項を記入のうえお申し込みください。

5. 発表者の決定 :

発表申し込み者が多数の場合、テーマ、発表要旨に基づく審査を経て決定する場合があります。発表の日時等は、3月下旬にお知らせします。

◎作品発表

大会会場に作品を発表者が展示し、所定の時間に発表者自らが制作意図等を口頭で発表することを条件とします。搬入および展示作業は別途ご連絡します。

1. 発表者の資格(応募資格) :

研究発表と同じ

2. 発表作品 :

未発表の絵本(個人制作、共同制作ともに可)

3. 発表形態および発表時間 :

判型、サイズ、ページ数等は自由。原画は、原寸で複製

されたシートの全画面と、カラーコピーなどによる製本見本1冊を出品すること。

4. 申し込み要領：

2026年2月2日（月）～2月20日（金）〔期間内に必着〕
Google Forms「B 作品発表エントリーシート」に必要事項を記入のうえお申し込みください。

5. 発表者の決定：

発表申し込み者が多数の場合、作品紹介要旨に基づく審査を経て決定する場合があります。発表の日時等は、3月下旬にお知らせします。

また、作品搬入の詳細については、4月上旬に第29回絵本学会大会実行委員会より連絡します。

【その他：研究発表・作品発表共通】

- ・発表申し込み時に記入されたタイトル、要旨は、原則としてエントリーシート提出後に修整・変更できません。
- ・受理した原稿等のデータは大会終了後責任をもって消去します。返却は致しませんので、必ず控えをとってください。
- ・大会当日の記録写真は絵本学会NEWSおよびホームページを通じて公開されることがありますのでご了承ください。
- ・発表者も大会参加費が必要となります。

【発表申し込みに関するお問い合わせ先】

絵本学会本部事務局 office@ehongakkai.com



◆研究発表申し込み方法

Google Forms「A 研究発表エントリーシート」に以下の項目を入力してお申し込みください。

①メールアドレス、会員種別

②氏名（和文）※外国籍の場合は英文表記可

③氏名の読み（カタカナ）

④住所

⑤日中の電話連絡先

⑥所属および職業など

⑦発表時に使用する機材（任意）

⑧発表タイトル

⑨発表要旨（800字程度）

⑩その他（任意）

※②⑥⑧⑨は大会プログラムに掲載します。

※ Google Forms へはこちらからアクセスしてください。

<https://forms.gle/gKt65en5qHy2W65F6>



◆作品発表申し込み方法

Google Forms「B 作品発表エントリーシート」に以下の項目を入力してお申し込みください。

①メールアドレス、会員種別

②氏名（和文）※外国籍の場合は英文表記可

③氏名の読み（カタカナ）

④住所

⑤日中の電話連絡先

⑥所属および職業など

⑦展示作品の情報（絵本の判型、サイズ、ページ数／展示する原画のサイズ、枚数など）

⑧作品タイトル

⑨作品紹介要旨（200字程度）

⑩その他（任意）

※②⑥⑧⑨は大会プログラムに掲載します。

※ Google Forms へはこちらからアクセスしてください。

<https://forms.gle/LD3XPh33SwwjVJ7u5>



会長報告

9月11日、来年6月に開催される「第29回絵本学会大会」のご挨拶に、北海道上川町へ伺いました。竹内美紀大会実行委員長ご案内のと、町長をはじめとする関係者の方々にお目にかかり、充実した受け入れ態勢が整いつつあることを実感しました。また、大会関連施設も拝見することができました。主会場となる「上川町かみんぐホール」は想像以上に大きく、スキージャンパー原田雅彦氏を顕彰する一室もある立派な施設です。来年の大会の活況が十分に予想できました。

翌日9月12日には、上川町に隣接する剣淵町の「絵本の館」を訪問しました。民主的な運営で知られている「けんぶち絵本の里大賞」展が開催されていましたが、来年の大会プログラムにおいても、「絵本キャラバンカー」など絵本による楽しい仕掛けが体験できることを伺いました。午後には、大会の基調講演者である「あべ弘士」氏と直接面会する機会を得ました。2026年の国際アンデルセン賞画家賞候補となっている氏の大自然や生命への視点は、大会テーマとも重なって地球規模で求められている内容です。さらに、地域全体が「絵本文化」を核としてコミュニティが輝いている様子に、感銘を受けました。

上川町周辺は、雄大な自然環境の中で豊かな社会的風土が形成されています。絵本を媒介としてゲニウス・ロキが可視化される地で、来年の大会が開催されることの幸せを実感した次第です。竹内大会実行委員長をはじめ、大勢の関係者の皆様が熱心にご準備していただいていることに心より感謝申し上げます。

(文責:水島尚喜)

研究委員会からのお知らせ

◎ 2025年度研究助成審査結果報告

協議の結果、下記一件を採択し、理事会にて承認されました。次回もご応募をお待ちしております。

研究テーマ: 2000年以前の絵本原画展の動向分析—「作品」としての原画の様相

申請種類: 個人研究・調査

申請者: 山内棕子(東京大学大学院生)

◎ 2025年度絵本学会研究会のお知らせ

12月20日(土)に、大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学にて研究会を行います。絵本学会ホームページに、詳細と参加申込方法を掲載しております。交流の時間も設ける予定ですので、皆さまのご参加をお待ちしております。



紀要編集委員会からのお知らせ

『絵本学』執筆要項改訂について

紀要編集委員会は、2025年10月13日に理事会の承認を受け、研究紀要『絵本学』の執筆要項の一部改訂を行いました。

執筆要項の修正点

以下の通り、投稿原稿の提出時、抄録、本文、図版を1つのPDFファイルにまとめていただきました。

10. 原稿の提出方法

- 1) 投稿時は、抄録、本文、図版を1つのPDFファイルにまとめ、メールに添付し、紀要編集委員会に提出する。紀要編集委員会のメールアドレスは、絵本学会ホームページで確認すること。



企画委員会からのお知らせ

絵本フォーラム開催のお知らせ

近年、絵本の世界が大きく揺れ動いています。絵本をめぐる情報や出会いのかたちが多様化するなか、出版社におけるマーケティングや宣伝、販売の方法、編集者の役割も変容しています。今回の絵本フォーラムは、至光社のお二人をお迎えし、ロングライフな作品を作り続ける小さな出版社の取り組みをヒントに、絵本の世界での「変わるもの」「変えるもの」「変えないもの」に向き合うひとときです。

画像や絵本を見ながら、絵本の「今」を見つめ、その先にある未来を探る時間をともに過ごしませんか。

絵本フォーラム 2025

「絵本の今、未来へのバトン～変わるもの・変えるもの・変えないもの～」

ゲスト：武市晴樹さん（至光社代表取締役社長）

小沼みさ子さん（至光社編集者）

ファシリテーター：穴澤秀隆さん（絵本学会会長代理、美術教育雑誌「美育文化」元編集長）

日時：2026年1月31日（土）

14:00～16:00 開場 13:40

開催方法：対面開催（オンライン配信はありません）

定員：80名（先着順）

参加費：1000円 当日会場にて現金でお支払いください

会場：林野会館 502号室

東京都文京区大塚3-28-7

東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷（みょうがだに）駅」下車

徒歩7分

申込期間：2025年11月15日（土）9:00～

2026年1月24日（土）20:00

申込方法：Google フォーム

下記のQRコードもしくはURLから、お申込みください。



<https://forms.gle/fv6CZZRLUyqQvokB7>

問い合わせ先：絵本学会企画委員会

kikaku46.ehongakkai@gmail.com

会場への問い合わせはご遠慮ください。

詳細は、チラシおよび学会ホームページをご覧ください。

理事会 議事録

◎ 2025 年度 絵本学会 第 2 回 理事会

日時：2025 年 8 月 3 日（日）17:00～19:30 オンライン
出席：水島尚喜（会長） 穴澤秀隆 生駒幸子
かわこうせい 佐藤博一 竹内美紀 永井雅子
馬見塚昭久 宮崎詞美 山本美希

水島会長より第 28 回絵本学会大会実施の労いの言葉があり、開会挨拶の後、以下の項目順に議事が進められた。

◆前回議事録の確認

2025 年度第 1 回理事会議事録、及び 2025 年度第 1 回メール審議議事録が承認された。

◆審議事項

1. 第 29 回（2026 年度）絵本学会大会開催要項について

竹内理事より 2026 年 6 月 27 日（土）・28 日（日）開催予定の次年度大会について詳細な報告がなされた。主催は絵本学会、共催は上川町教育委員会として実施する。また、上川管内の教育委員会に後援を呼びかける。

会場は上川町立かみんぐホール。『絵本 BOOKEND2026』の特集「北海道」と「追悼」をつなぐテーマとして「絵本は生命のバトン」が提案され、プログラム内容について検討している旨が報告された。

基調講演は、あべ弘士氏（絵本作家、旭川在住、元旭山動物園飼育員）にご快諾いただき、ラウンドテーブルについては「吉田新一先生追悼、ポーター絵本」「地方連携と絵本を手渡す者たち」等を検討している。

大会会場における写真展、原画展、書籍販売、懇親会、宿泊・観光の情報提供、広報活動に関して具体的な検討事項が報告された。

また、絵本作家による子ども対象のワークショップ、地元の教育関係者などが参加できるプログラムなどの立案について意見が出された。

大会開催に向けて、2025 年 9 月 13 日（土）水島会長の講演（「かがくひひろし展」オープニング記念：北海道立旭川美術館）、10 月 12 日（日）竹内理事による絵本講座「科学絵本」（旭川中央図書館／東洋大学後援）、12 月 7 日（日）竹内理事による絵本講座「北海道の絵本」（上川かみんぐホール）において大会案内チラシを配布するなど、地元広報活動を積極的におこない集客に尽力する方向性が示された。

大会チラシ、パンフレットなどのデザインについては、広報委員会を中心に理事会でも協力体制をとることが確認された。関連イベントで配布する A4 のチラシを 9 月初旬までに作成す

る旨が了承され、竹内理事を中心に内容を検討していくこととなった。

第 29 回絵本学会大会実行委員会

竹内美紀（委員長：絵本学会理事）

穴澤秀隆、生駒幸子、永井雅子（第 29 回大会担当理事）
神保和子、森景子、山内知恵子、中山美加、佐賀のり子、
神谷友、劉娟（ジェン）、小西里佳、矢阪亜希子

2. 2025 年度研究助成について（追認）

山本理事より、2025 年度研究助成の応募を 6 月末日締切にて募集し、4 件の申請について研究委員会にて厳正な審査を行い、メール審議にて理事会の承認を得たのち、応募者には 7 月末日までに採否の通知をおこなった旨が報告された。採択された研究は以下の 1 件である。

研究テーマ：2000 年以前の絵本原画展の動向分析——「作品」としての原画の様相

申請種類：個人研究・調査

申請者：山内棕子（東京大学大学院生）

理由：本研究における 2000 年以前の絵本原画展の開催記録の収集とリスト化、およびその動向分析によって絵本原画展の成長の様相が明らかになることが期待され、「絵本の原画」の位置付けに対する新たな知見をもたらすと考えられる。申請者は『絵本学』において本研究に関連する研究論文も発表しており、今後の成果が期待できる。

3. 専門委員（機関誌編集委員）の辞任と補充について

2025 年 6 月 21 日で退任：久保田知恵子、相沢和恵

2025 年 6 月 21 日から新任：神保和子、山内知恵子（任期 2 年間）

以上が承認された。

4. 入会申込者（6 月度・7 月度）の確認

メール審議の結果が確認された。

申込者に入会承認の通知後、入会手続きが完了されないことがあるため、氏名の告知について事務局で検討することとなった。

5. 30 周年事業に向けて（継続審議）

【参照：第 1 回理事会議事録】

学会ウェブサイトのリニューアル、ウェブサービスの充実と会員ページ作成、学会出版物のオンライン配信などについて、審議を継続した。

情報発信のネットワーク化も含めて学会運営のあり方にも言及する必要性が確認された。

30 周年事業検討委員会の発足が提案され、絵本学における

る研究倫理、著作権の取り扱いについてまとめる、絵本学会の独自性をいかした刊行物、メモリアルブックなどの発行、絵本研究アーカイブズの構築の意見が出された。

◆ 報告事項

1. 第 28 回（2025 年度）絵本学会大会報告

穴澤理事より、絵本学会大会については参加者 431 名の参加者があり、大変盛況であったことのお礼が述べられた。大会報告の詳細は「絵本学会 NEWS 第 82 号」で報告する。検討事項としては、実行委員および協力者への交通費支出について次回大会より具体化が必要である旨の意見があった。

2. 各専門委員会より

① 企画委員会（永井理事）

絵本フォーラムはテーマ「今、絵本に求められているもの—アジアに送り出す絵本への想い（仮題）」として、2026 年 1 月 31 日（土）に林野会館（東京都文京区）で開催予定であることが報告された。登壇者、会場が決定し、広報活動に関しては NEWS をはじめ、理事会でも協力することが確認された。案内チラシの制作、登壇者との打ち合わせも進めている。

② 紀要編集委員会（馬見塚理事）

紀要『絵本学』28 号編集の進捗状況について報告がなされた。2025 年 9 月末まで研究論文、研究ノート、論説を募集、その後、査読を予定している。

③ 機関誌編集委員会（竹内理事）

『絵本 BOOKEND2026』編集の進捗状況として、2026 年度大会の開催地である「北海道」と逝去された絵本作家・研究者への「追悼」をテーマに構成案、執筆者への依頼について報告がなされた。座談会の掲載については担当者の皆様が編集のタイムスケジュールに即して対応してくださることで継続できる旨の返事があったことが報告された。

④ 研究委員会（山本理事）

絵本研究会の実施について 12 月 20 日（土）、大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学（大阪市東淀川区）において実施予定である旨が報告された。日程、会場が確定し次第、研究発表・作品発表の募集時期、および学会 HP において募集を周知する方向性が示された。発表者への発表時間の周知、発表人数が多い場合の選抜については今後の検討事項であることが確認された。

⑤ 広報委員会（宮崎理事）

「絵本学会 NEWS 82 号」の編集、校正の進捗状況について報告があった。タイトなスケジュールではあるが各理事による

校正の協力が必要であり、10 月初旬には絵本学会 NEWS 83 号の原稿執筆依頼を行う予定である旨が告知された。

⑥ 日本絵本研究賞運営委員会（かわ理事）

募集要項に各賞の対象と募集期間の詳細について補記された旨の報告がなされた。

3. 事務局より

- ・「戦後 80 年 ちひろと世界の絵本作家たち 絵本でつなぐ『へいわ』」展内覧会（7 月 28 日／ちひろ美術館）および「第 30 回日本絵本賞」表彰式（8 月 1 日／日本出版クラブ）に絵本学会を代表して穴澤理事が出席した。
- ・学会事務局業務の一部を業務委託している毎日学術フォーラムの担当者交代に伴い、本部事務局との打ち合わせを行い、業務内容の確認を行なった。

2025 年度 絵本学会 第 2 回メール審議（7 月発信）議事録

- ・6 月度・7 月度入会申込が承認された。
【正会員】荻野行正、前田美樹、光川利恵、鈴木まゆみ、都丸美樹子、今井彩、鈴木京子、田中聖子、裘夢雲、段千恵子、榎本陽子、藤原潤子、アンナ・ササキ、小西里佳、武田明美、以上 15 名
【準会員 b】大西乃愛、中川みさき、以上 2 名
合計 17 名
- ・研究委員会「2025 年度絵本学会研究助成申請 審査結果報告」が承認された。
- ・「絵本学会 NEWS」82 号（8 月発行分）に掲載予定である 2025 年度絵本学会第 1 回理事会（6 月 7 日）議事録が承認された。

2025 年度 絵本学会 第 3 回メール審議（9 月発信）議事録

- ・8 月度入会申込が承認された。
【正会員】網弥生、松尾光代、撫本裕子、以上 3 名
・名義後援の依頼が承認された。
ちひろ美術館（東京／安曇野）「装いの翼—いわさきちひろ、茨木のり子、岡上淑子」
軽井沢絵本の森美術館 2025 年秋冬展「魔法の絵本」
- ・出版の学会内告知が承認された。
宮下美砂子、神保和子、他『子どもの本でジェンダーレッスン 学びたいあなたのためのブックガイド』（かもがわ出版）の告知チラシを次回 NEWS 発送時（12 月）に同封

◎ 2025 年度 絵本学会 第 3 回理事会 議事録

日時：2025年10月13日(月・祝)10:00～12:30 オンライン
出席：水島尚喜（会長） 穴澤秀隆 生駒幸子 佐藤博一
竹内美紀 永井雅子 馬見塚昭久 宮崎詞美
山本美希
欠席：かわこうせい

水島会長より開会挨拶の後、以下の項目順に議事が進められた。

◆前回議事録の確認

2025 年度第 2 回理事会議事録

2025 年度第 2 回メール審議（7 月発信）・第 3 回メール審議（9 月発信）議事録

◆審議事項

1. 第 29 回（2026 年度）絵本学会大会開催要項について

大会実行委員長・竹内理事より 2026 年 6 月 27 日（土）・28 日（日）開催予定の次年度大会について説明がなされた。大会テーマは「絵本は生命のバトン」とし、開催場所は北海道上川町かみんぐホール、主催は絵本学会、上川町と上川町教育委員会が共催となり、上川町の行事としても実施されることが報告された。

大会実行委員会の議論を経て立案されたプログラムは以下のとおり。

1 日目午前にワークショップ「絵本でつなぐコミュニティ」、午後に北海道を代表する絵本作家・あべ弘士氏による基調講演、その後懇親会がある。2 日目に研究発表、作品発表が行われ、今年 2 月にご逝去された吉田新一先生の追悼シンポジウム「ピーターラビットの絵本と自然保護」を行う。登壇者、協力者にもご快諾いただき、準備を進めている旨の報告があった。

交通、宿泊、その他問い合わせ先である大会 HP の設置、情報発信準備の進捗状況も報告された。

北海道で大会を開催する意義、絵本でコミュニティ構築を目指すという理念を盛り込んだ大会開催趣旨文は、早期に学会内外へ告知する。

以上、第 29 回大会についての実行委員会方針が承認された。

研究・作品発表募集要項については事務局で立案し、昨年度同様 Google フォームによる募集を行うことが了承された。研究発表は 2 日目の 10:00～12:00、作品発表（口頭発表）は 2 日目の 13:00～14:20 の予定。募集要項には、研究・発表者についても大会参加費を支払うことを付記することが確認された。

2. 第 28 回（2025 年度）絵本学会大会決算

穴澤理事より第 28 回絵本学会大会の決算報告書、支出明細書をもとに、大会実施にかかる収支について詳細な説明が行われ、承認された。会計システムについては会計責任者、会計監査を置くなど、厳密性を期することが今後の課題であることが指摘された。

3. 絵本学会 30 周年事業に向けて

9月22日(月)に行われた水島理事（会長）、穴澤理事（会長代理）、佐藤理事（事務局長）、生駒理事（事務局長補佐）での打ち合わせを経て、30 周年事業の具体的な内容について提案がなされた。予算と期間等の制約に鑑みつつ、絵本学会設立 20 年から 30 年までの歩みをまとめ、「絵本学」の学術的発展に寄与するという学会設立理念に即した企画を検討していく。絵本学会 30 周年記念冊子の出版（研究倫理と絵本学の基礎を学ぶハンドブック、クロニクルなど）、イベント、記念品制作などの実現可能性について議論された。

《記念冊子の内容案》

- ・この 10 年の学会の歩みをまとめる
- ・絵本学の学術的進歩を示す「日本絵本研究賞受賞」受賞論文を掲載する
- ・「絵本の過去と現在、現在と未来をつなぐ」をテーマに絵本作家、絵本研究者など非会員の方々からのメッセージ等も掲載する

現理事メンバーの一部に過度な負担がかからないような役割分担、業務委託体制の構築が必要であるため、実施体制について引き続き意見交換を進めていく。

4. 学会紀要「執筆要綱の改訂について」

紀要編集委員長の馬見塚理事より紀要執筆要綱の改訂の提案があり、承認された。

5. 入会申込者の承認

2025 年 9 月の入会希望者 7 名（正会員：6 名、準会員 a：1 名）の入会が承認された。

【正会員】安藝雅美、神谷三郎、檜山堯史、八木亜砂子、河合祐子、白瀬浩司、以上 6 名

【準会員 a】澤村亮、以上 1 名

合計 7 名

◆ 報告事項

1. 各専門委員会より

① 企画委員会（永井理事）

絵本フォーラム「絵本の今、未来へのバトン～変わるもの・変えるもの・変えないもの～」（2026年1月31日／林野会館）の開催に向けて、案内チラシの制作、NEWS掲載などの準備状況について報告がなされた。

② 紀要編集委員会（馬見塚理事）

紀要『絵本学』第28号の投稿が9月30日に締め切られた。今回は多くの投稿があり査読体制を整えているが、査読依頼を断られることも多く、難航している。

③ 機関誌編集委員会（竹内理事）

2026年6月発行予定の「絵本BOOKEND 2026」について、原稿依頼を終え、スケジュールに沿って順調に進行している旨の報告があった。

④ 研究委員会（山本理事）

絵本研究会が12月20日に大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学（大阪市）で開催される。9月25日に発表者募集を締め切り、6件（7名）の研究発表の申し込みがあったが、うち1件は応募資格の条件が満たされていなかったため、5件を受理することとなった。

現在、当日の発表スケジュール作成や座長の選定を進めしており、発表後は交流会も行う予定である。

⑤ 広報委員会（宮崎理事）

「絵本学会NEWS」83号の発行に向けて、編集スケジュールの共有と各理事への原稿依頼が行われた。

⑥ 日本絵本研究賞運営委員会

今回は報告なし。

2. 事務局より

- ・日本児童文学学会事務局より、第49回日本児童文学学会賞の決定について告知があり、内容の共有を行なった。
- ・新入会申込を理事会で承認した後の「入会手続き」に期限を定めることが確認された。
- ・入会手続きを完了した入会者の氏名は「絵本学会NEWS」に掲載する。

次回理事会 12月開催の日程調整を行う。

新入会員

2025年4月1日～10月25日

（正会員：38名、準会員b：3名）

【正会員】

樋口陽子、名取初穂、山本節子、井口あづさ、三浦訓江、福山耕太、小柳美和、三浦良文、花坂歩、安藤理恵子、坪井晶子、河野唯里、西川奈美、更家なおこ、LI SIYAN、吉田愛、松戸結佳、荻野行正、前田美樹、光川利恵、鈴木まゆみ、都丸美樹子、今井彩、鈴木京子、田中聖子、裘夢雲、段千恵子、榎本陽子、藤原潤子、ササキアンナ、小西里佳、武田明美、網弥生、松尾光代、撫本裕子、八木亜砂子、河合祐子、白瀬浩司

【準会員b】

森崎鉄也、横尾亜美、中川みさき



新入会員自己紹介

花坂歩

(大分大学)

この度は入会を認めてください、ありがとうございます。私の専門は国語科教育学です。近年は読書を中心とした授業開発の他、読み聞かせ発声法を大学公開講座で指導しています。一昨年の第10期絵本専門士養成講座の受講をきっかけに、絵本をもっと専門的に学びたいと思うようになりました。本会への入会を決めました。絵本に関する見識を深め、地域の絵本文化の発展に寄与できるようになることが目標です。よろしくお願いいたします。

...

藤原潤子

(神戸市外国語大学准教授・かけはし出版代表)

はじめまして。私は神戸市外国語大学でロシア語を教えながら、ロシア文化を研究しています。絵本を通してロシア社会を読み解くことに関心があります。ウクライナ戦争をきっかけに立ち上げたひとり出版社「かけはし出版」で、出版活動も行っています。ロシア絵本の翻訳出版を通して、ニュースでは見えにくいロシアの「ふつうの人々」の姿を伝えることをめざしています。本学会で多くの方と交流できるのを楽しみにしています。

...

荻野行正

(京都民医連中央病院・緩和ケア内科)

私は京都で緩和医療に従事している医師です。がんになった方が、残された時間、その人らしく生き切ってもらえるように支える仕事をしています。その経験をもとに、2024年に、ゆうきまあさというペンネームで『がんになったライオン』(クリエイツかもがわ)という絵本を描きました。出版されると、いろいろな方々から感想をいただき、また思わぬ反響もあり、絵本を世に出すことの責任の大きさを感じています。

...

井口あづさ

(甲南女子大学文学部)

はじめまして。学校教員を経て、創作を中心とした文章表現の研究に取り組んでいます。絵本の言語表現に加え、視覚表現や声などの身体表現の分析に興味があります。大学の授業では、作品を分析しながら、多様なコミュニケーションや場の創出、学生の成長を促すような絵本の魅力や可能性について考えているところです。絵本学会で、多くの皆様との交流を通して学びを広げていけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

...

ササキアンナ

(清泉女子大学)

ササキアンナと申します。清泉女子大学で翻訳を教えております。専門は国際児童文学で、翻訳の視点から児童文学を研究しています。2020年に第一子が生まれてから絵本に関心を持ち、翻訳と心理学の観点から探究を続けています。2024年に絵本出版賞奨励賞を受賞し、『くつしたをクローゼットのしたにいれないでね』で絵本作家としてデビューしました。日本語は母語ではありませんが、日本語で絵本を執筆できたことを誇りに思っています。

...

榎本陽子

(学校司書・絵本専門士・WUN(うちどく推進プロジェクト内))

学会に入会させていただきありがとうございます。現在、学校司書として、横浜市の小学校に勤務しております。子どもたちの未来のために、読書推進を行っています。読書習慣は、家庭の読書環境が大きく影響するので、うちどくの推進に力を入れています。絵本学会で学びを深め、子どもたちと、子どもを取り巻く環境へも絵本の素晴らしさを伝え、広げていきたいです。よろしくお願ひいたします。

...

光川利恵

(専修大学学生相談室カウンセラー)

絵本学会に入会させていただき、ありがとうございます。大学の学生相談室で、学生や保護者への心理支援に携わっています。人が語る物語に心を動かされてきた経験から絵本の力に魅了され、絵本セラピストとしても活動しています。絵本を通じて心がほぐれ、語り合える場づくりを目指し、グループ支援や語りの実践にも取り組んでいきたいと思っています。絵本の奥深さを学び合いながら、皆様と豊かな交流ができれば嬉しいです。

...

河野唯里

(江戸川区角野栄子児童文学館司書)

この度入会いたしました河野唯里と申します。

日本女子大学と大学院で児童文学を専攻後、出版取次会社に勤務、公共図書館の司書勤務を経て、現在の文学館に在籍しております。現在、行政とも連携しながら児童文学や絵本を扱ったイベント企画や運営を行い、絵本から幼年文学への読書移行期についての調査も行っています。絵本学会でさらに学びを深めていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

...

Moon Q

(サイエンスイラストレーター・日本大学研究員)

本名裘夢雲。自然科学を中心に、サイエンスイラストレーションや科学絵本の研究と制作を行っております。2015年より、図鑑や博物館における解説図などのイラストプロジェクトに参加させていただきました。現在は、日本大学において、科学的知識をわかりやすく伝えるためのビジュアル表現や絵本の可能性を探りながら、フリーランスのイラストレーターとして制作活動をしております。どうぞよろしくお願ひいたします。

...

田中聖子

(三重大学／皇學館大学非常勤講師、絵本専門士)

元小学校教員。教育行政の場にも長くいました。退職後は、大学で司書教諭科目を担当しています。絵本を活用した「居場所づくり・つながりづくり」を思い描き、只今、地域活動に参画中です。かねてからの夢であった絵本屋さん開店に向けて準備を進めているところでもあります。優れた絵本がもつ力をその本・その人・その場にぴったりな言葉で伝えていけるよう学びを深めたく、入会しました。どうぞよろしくお願ひいたします。

...

三浦良文

(国立国会図書館)

みなさん、はじめまして。国立国会図書館の三浦良文と申します。前職の国際子ども図書館長時代に、絵本の持つ素晴らしさと児童書を通して世界各国の子どもたちが相互理解を深めることの大切さに触れ、貴学会に入会させていただきました。私は絵本の世界については、まだまだ素人同然なのですが、今後とも研鑽を積んでまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

...

更家なおこ

(絵本道®主宰 絵本専門士)

初めまして、絵本道®主宰 絵本専門士の更家なおこと申します。絵本作家養成専門学校で講師歴10年、NTTなど企業対象人材育成講師歴25年以上。東北を研修中3.11に遭遇し、こころケア絵本を出版。被災地で大人対象の絵本の場を10年継続、ノウハウをイベントや講演・研修で全国に展開中です。直近は絵本の構造で制作した「物語動画教材」にて保護司の課題解決活動中。新しい絵本の関わりにご興味ある方は絵本道のsnsをご覧下さい。



編集後記 (50 音順)

新入会員の皆様、ご執筆くださりありがとうございました。
ところで私は最近、コラージュをしながら編集について考えます。
思い描く風景を求める人は「きちんとストーリーを考えて作りなさい」と言い、思いもよらない風景を求める人は「自然に従って組み合わせれば立ち上がってくる」と言います。
編集は、その間を彷徨う過程なのかもしれません。
(博多哲也)

本号では、第 29 回絵本学会大会のお知らせがありました。
「絵本は生命のバトン」という素敵なテーマをもとに開催されます。
広報委員として大会のロゴとチラシのデザインを担当させていただきました。
以前、絵本のワークショップで剣淵町の「絵本の館」を訪れたことがあります。あの素晴らしい自然に囲まれた場所で大会が開催されることを思うと今から楽しみです！
(正木賢一)

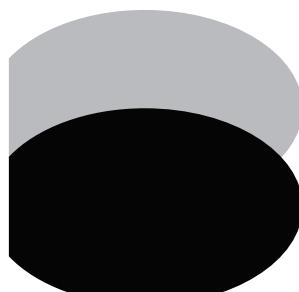
いつのまにか冷え込みの厳しい季節となりました。
絵本の魅力を誰かに届けたくなる季節もあります。
皆様の活動を通じて、絵本の魅力がたくさんの人々に伝わるよう、そして、このニュースが皆様の活動のお力になれますように祈りつつ、お届けいたします。
(松本由美)

今年は、秋を飛び越えて冬がやってきたように感じています。
そしてこの絵本学会 NEWS83 号では、もう次年度初夏の北海道上川大会のお知らせの掲載となりました。
一年が早く過ぎるようになったのは、なぜでしょう。
自分が生まれ育った北海道の豊かな自然の中へ、ほんとうのことを心から見つめに参りたいと思っています。
(宮崎詞美)



イラストレーション：博多哲也

※イラストレーションを許可なく無断転載、コピー、再配布することはご遠慮ください。



絵本学会